

2025年度住宅ローン貸出動向調査結果

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区後楽1-4-10、理事長：毛利 信二）が実施した2025年度住宅ローン貸出動向調査結果をお知らせします。

調査結果の詳細は、機構ホームページをご覧ください。

(<https://www.jhf.go.jp/about/research/loan/minkan.html>)

調査の概要

本調査は、住宅ローンを取り扱う金融機関を対象に、住宅ローンの取扱状況についてアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめたものです。

なお、本調査は住宅金融支援機構設立時から継続して実施しております（2020年度より調査名称を一部変更）。

（参考）調査実施時期：2025年7月～9月、回答機関数：298機関

調査結果の主なポイント ※ [] は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

○ 約7割の金融機関が新規の住宅ローンへの取組に積極的 [p. 4]

<新規の住宅ローンへの取組姿勢>

「積極的」 : 71.1% (2024年度調査 71.8%)

「自然体（現状維持）」 : 28.5% (2024年度調査 27.6%)

「消極的（慎重、縮小）」 : 0.3% (2024年度調査 0.7%)

○ 住宅ローンの最長返済期間は「50年」が増加 [p. 13]

<住宅ローンの最長返済期間>

「50年」：変動型 : 57.5% (2024年度調査 33.8%)

固定期間選択型 : 55.2% (2024年度調査 33.6%)

全期間固定型 : 34.0% (2024年度調査 21.9%)

○ 変動型の住宅ローン金利の見直しに関するお客さまからの照会が「増えている」または「多少増えている」と回答した金融機関は約6割 [p. 19]

<1年前（2024年6月末）と比べたお客さまからの照会状況の変化>

「増えている」または「多少増えている」 : 60.8% (2024年度調査 53.2%)

「変わらない」 : 37.2% (2024年度調査 45.5%)

「やや減っている」または「減っている」 : 2.0% (2024年度調査 1.3%)

本リリースに関するお問い合わせ先

住宅金融支援機構 経営企画部広報グループ 長岡/熊谷/内藤/木下/長谷川 TEL: 03-5800-8019

住宅金融支援機構ホームページ <https://www.jhf.go.jp>